**平成25年度第2回ISO/TC46/SC4国内委員会議事録**

1. 日時：2014年1月15日10時～12時

2. 場所：文京区シビックセンター3階 会議室C

　　　　（文京区春日1-16-21）

3. 出席者：

　　　委員　宮澤彰　　国立情報学研究所（SC4リーダ）

　　　　　　安形輝　　亜細亜大学

　　　　　　川瀬直人　国立国会図書館

　　　　　　小島裕一　株式会社リコー

　　　　　　鈴木努　　早稲田大学

　　　　　　村田良二　東京国立博物館

　　　　　　吉田直樹　日本図書館協会

経済産業省　亀山孝弘　産業技術環境局情報電子標準化推進室

　　事務局　光富健一　情報科学技術協会

4. 配布資料：

　平成25年度ISO/TC46/SC4国内委員会第一回委員会議事録

　資料１：2013年度 ISO/TC46投票済み案件と投票審議案件

　資料２：国際図書館資料識別子(仮称)の検討について

　資料３：NP投票(新業務項目提案)の質問と回答

　資料４：ISO/TC46 meeting week in Washington D.C., USA 5th to 9th May 2014

　資料５：ISO/TC46/SC4 Technical interoperability

　資料６：ISO28560-4 TS or TRの発行投票について

5. 議題：

5-1) 前回議事録の確認

5-2) 平成25年度ISO/TC46/SC4投票済み案件と投票審議案件

　資料１に基づいて前回委員会以降に投票した案件３件について、宮澤リーダと

担当委員から説明があった。また、担当委員から資料6に基づき、2014年3月1日

が回答期限の投票審議案件である「ライブラリ内のRFID」について説明があっ

た。主として、前回提案(7/8)に対して付けた日本からの意見で却下された

JPN1、JPN2への対応について議論を行った。JPN2については改めて主張はしない

ことになった。理由としては、現在の日本の実装では使われておらず、EPCでは

貸出フラグを拡張領域に入れることが決まり、新しいISOになる予定であるた

め、JPN1については、技術的なコメントというよりは文章に対するコメントなた

め、Approvedとした上で、改めてコメントすることとした。

5-3) 国際図書館資料識別子(International Library Item Identifier)の国際提

案について

　SC9からのNWIP提案を目指し、ワーキンググループを結成し、検討を始めた。

なお、SC4からもこのWGに参加している。第一回のWG会合

記録に基づいて検討内容が紹介された。国際図書館資料識別子はISILと各図書館

の管理番号の組み合わせとして提案する予定である。このSC4の会合では、国際

図書館資料識別子について、その必要性、利用するさいの問題（付与する単位

等）について各委員から意見を伺った。

5-4) NWIP投票について(2012年10月以降変更)

　事務局より2012年10月以降の変更について紹介があった。各投票について

ApprovedであってもDisapprovedであっても理由を書く必要がある。理由を書か

ない場合、無効投票となる。

5-5) 2014年ISO/TC46ワシントン総会について

　2014年5月5日から9日にかけてワシントンDCの米国議会図書館で開催される。

本委員会からも参加する予定である。国会図書館からも委員が派遣される予定であ

るが、SC4かSC9の委員になるかは未定である。

5-6) その他